

R7 校内研修全体計画

1 研修目的

教育の現場における実践的研修を相互に深め、教職員としての資質の向上に努めるこ
とによって学校教育の充実を図る。

2 研修の視点

- (1) 本校の学校教育目標の達成に向けて研鑽を積む研修
- (2) 教職員としての視野を広げ、教育的実践力を高める研修
- (3) 児童の変容を把握し、授業改善につなげる研修
- (4) 学校職員が相互に協働し、適切に組織を形成しながら運営していく研修

3 研修の基本方針

(1) 学習指導に係る研修

「熊本の学び推進プラン」に基づき、「児童の視点に立った『児童の学びの側から考え
る』授業づくり」の推進を図る研修を進める。

- ① 授業研究会、公開授業の実施
- ② 指導力向上を図る講話（講師招へい等）の実施

(2) 人権教育・道徳教育に係る研修

- ① 現地研修等の実施
- ② 授業研究会、公開授業の実施

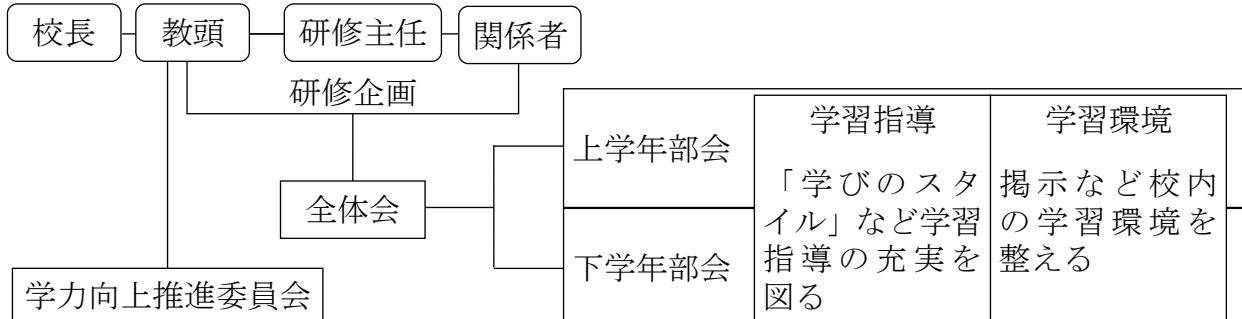
(3) その他の教職員の資質・能力の向上を図る研修

- ① 児童理解研修
- ② 特別支援教育研修
- ③ 実技研修（情報教育、救急救命等）
- ④ 幼保等小中連携に係る研修
- ⑤ 復講（各種研究会の報道）
- ⑥ その他（町教育委員会主催研修への参加等）

(4) 留意事項

- ① 各研修については、担当者と連携を図り設定する。
- ② 本年度、校内研修は長期休業期間中も含めて30回実施する。

4 研修の組織



5 研修の年間計画

| 期日 | | 児童理解 |
|----------|--------------------------|------|
| 1 4／7 | 児童理解、特別支援教育、アレルギー対応（全） | |
| 2 4／9 | 今年度の研修計画 | |
| 3 4／22 | 個人テーマ、授業研教科決め | |
| 4 4／30 | 人権学習年間計画、特別支援教育 | ○ |
| 5 5／28 | 全学調校内採点結果分析、授業研①（1・6年） | ○ |
| 6 6／9 | 救急救命講習（全） | |
| 7 6／18 | 講話（「熊本の学び」の推進）、授業参観（全学年） | |
| 8 6／27 | 小中合同研修会（ニュースポーツ体験） | |
| 9 7／2 | 授業研③（4・2年）、特別支援教育 | ○ |
| 10 7／9 | 授業研④（5・3年） | |
| 11 7／16 | 授業研⑤（4・2年）、人権学習実践記録まとめ | |
| 12 7／18 | 特別支援教育 | |
| 13 8／1 | 講話（湯前町教育委員会） | |
| 14 8／8 | 現地研修（人権教育） | |
| 15 8／20 | 参加研修の復講、1学期の反省 | |
| 16 9／3 | 授業研⑥（5・3年）、特別支援教育 | ○ |
| 17 10／1 | 授業研⑦（4・2年） | ○ |
| 18 10／10 | 講話（健康教育） | |
| 19 10／22 | 幼保小中公開授業（1年・中学1年） | |
| 20 10／29 | 11月の人権学習に向けて、特別支援教育 | |
| 21 11／19 | 講話（基礎的環境整備）、授業研⑧（特別支援） | |
| 22 12／3 | 公開授業の準備（道徳）、授業研⑨（6・2年） | ○ |
| 23 12／10 | 講話（道徳指導力向上）、授業研⑩（1・4・5年） | |
| 24 12／17 | 町PTA主催教育講演会 | |
| 25 12／24 | 2学期の反省、人権教育レポートの作成 | |
| 26 1／9 | 学力調査分析1 | ○ |
| 27 1／21 | 授業研⑪初任者大研 | ○ |
| 28 1／28 | 学力調査分析2 | ○ |
| 29 2／10 | 人権教育レポート研修 | |
| 30 2／25 | 研修のまとめ、反省 | |

※運動会期間の9月は、原則、校内研修を設定しない。

※校内研修の後半に「児童理解」の時間を設定する。

※講師招へい・・・県教委、球磨教育事務所、県立教育センター、町教委、その他

※授業研究会・・・①4月22日に本年度の個人テーマと授業研の教科を検討する。

②授業づくりの研修というとらえ方。共通理解・共通実践「大切にすること」を中心に話し合い、教師の指導力向上を目指す場とする。